

令和7年度 第1回 東海村社会教育委員会議 議事録

1 開催日時	令和7年7月9日（水）18：30～19：50
2 場 所	東海村中央公民館 会議室4・5
3 出席者	岡田裕昭，馬場幸子，松坂晃，木村智恵，加納里美，濱中本子（順不同・敬称略）
4 欠席者	山口文雄
5 議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p style="padding-left: 40px;">議案第1号 議長及び副議長の選出について</p> <p style="padding-left: 40px;">議案第2号 東海村社会教育振興基本計画の令和6年度評価について</p> <p>4 その他</p> <p style="padding-left: 40px;">東海村社会教育振興基本計画の改定について</p> <p>5 閉 会</p>
6 配布資料	<p>（資料1）東海村社会教育振興基本計画について</p> <p>（資料2）東海村社会教育振興基本計画 施策体系表</p> <p>（資料3）東海村社会教育振興基本計画 事務事業一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第67回全国社会教育研究大会岩手大会 開催要項 ・社教連会報 No.96 ・令和7年度 東海村教育の概要 ・東海村社会教育振興基本計画 策定スケジュール案
7 結 果	<p>議案第1号 議長及び副議長の選出について</p> <p>議長として岡田裕昭委員，副議長として馬場幸子委員が選出され，承認された。</p> <p>議案第2号 東海村社会教育振興基本計画の令和6年度評価について</p> <p>出た意見を踏まえて各事業とも「継続」の旨が承認された。</p>
8 議事内容等	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>教育部長による挨拶のほか，教育部長から各委員に委嘱状が交付された。</p> <p>3 議 事</p> <p>議案第1号 議長及び副議長の選出について（事務局による議事進行）</p> <p>議長として岡田裕昭委員，副議長として馬場幸子委員が選出され，承認された。</p> <p>議案第2号 東海村社会教育振興基本計画の令和6年度評価について（議長による議事進行）</p> <p>※事務局が【資料1～3】により説明。</p> <p>（委 員）エンジョイサマースクールでは地域の方々の協力によって沢山の講座が開催されているが，講座数が多くなったことにより参加者に偏りが出てしまうことはないか。</p> <p>（事務局）仰る通りである。協力団体数は，令和5年度が53団体，令和6年度が48団体と若干減少したが，参加者数は令和5年度が延べ5,890人に対し，令和6年度は6,900人と増加してはいるもの子どもたちにニーズが高い体験活動講座とそうでない講座で参</p>

加者数に差が出てしまっている。

(委員) 子どもがエンジョイ・サマースクールに参加している。講座によって参加者数に差が生じると思うが、事務局では事前に対策を取ることはできないのか。

(事務局) 事務局では、地域団体や企業・行政などが企画した講座を取りまとめて開催情報を集約したパンフレットを作成し、子どもたちに紹介している。開催後の実績としては参加者数を把握してはいるが、事前に対策を講ずることは難しい状況である。

(委員) 毎年ツリークライミング講座に応募しているが、応募者多数のため当選できていない。募集人数や開催場所も限定されていることもあると思うが、応募数の多い講座は開催日程を増やすなどの対応は取っているのか。

(事務局) ツリークライミング講座は「とうかい子どもキャンパス事業」で生涯学習課が主催する講座であり、エンジョイ・サマースクールとはまた別の事業になる。「とうかい子どもキャンパス事業」では、生涯学習課が主催している事業となるため、参加者の応募状況等により、毎年度、新規講座を取り入れながら、講座内容・回数などを適宜変更するなどして対応している。

(委員) エンジョイ・サマースクールの人気講座は抽選でなかなか当たらず、残念である。次年度は定員や開催日程を増やすなど、対応してもらえるとありがたい。

(事務局) 生涯学習課が主催する講座は調整可能だが、地域団体や企業が主催する講座は、人員体制などそれぞれの事情もあるため、すぐに定員や開催日程を増やすなどの対応は難しいところがある。当選しづらい状況への対応については、情報収集のうえ検討していきたい。

(委員) 資料3-1(青少年担当)「学校連携事業(ジョイント事業)」は開催数が減少してしまったということでB評価となっているが、学校側としては、県の推進する教員の働き方改革の一環で一日の授業時間を5時間以内とする取組みが推奨されており、今まであった授業数を減らさざるを得なくなっている。ジョイント授業は子ども達が色々な体験ができて良い取り組みだと思うので、今後も開催していくためにも、県から求められている授業数削減と折り合いをつけながら、次年度のカリキュラム編成時期(2月)までに学校側と調整していった方がよいと思う。

(委員) 村内各施設の障がい者用駐車場に健常者が駐車している姿を目撃することがあり、ハンディキャップを抱える方への意識が育っていないと感じる。障がい者への理解を促進する啓発施策を実施してほしい。

(委員) 資料3-2(生涯学習担当)「中央公民館講座開催事業」で「受講者が少ない講座を途中で打ち切った」とあるが、どんな講座が打ち切りになったのか。

(事務局) 昨年度に途中打ち切りとした講座は、「初心者向けスマホ講座」である。令和元年度から継続して開催してきており、毎年一定の受講者がいたが、昨年度は数名の受講者しか集まらなかったため、年4回開催予定を3回目で打ち切った。

(委員) スマホ講座は、コミュニティセンターや役場庁舎でも開催しているため、受講者が散らばってしまうのではないか。

(事務局) 公民館で開催しているのは初めてスマホを持った人のための講座で、役場庁舎で開催

しているのは、既に使える人がレベルアップするための相談窓口である。また、コミュニティセンターでは、スマホを使える人が横のつながりで初心者に教えている。公民館講座では各回12名募集したが、数名の参加に留まってしまったため、需要がなくなったと判断し打ち切った。

(委員) スマホを使えない方は高齢者が多く、交通手段もない方が多い。それもスマホ講座に人が集まらない要因だと思われるため、講座に行く交通手段(タクシーなど)を確保すれば、受講者が増えるのではないか。また文化祭の際、交通規制や悪天候により会場に入れなかった高齢者がいた。高齢者や体調不良者のための駐車場を会場付近に確保していただければ、色々な方が参加できると思う。

また石神城の見学希望者をタクシーに乗せることがあるが、那珂市の額田城と比べて整備(幟旗・コラボ食品等)がされていないと感じている。石神城を観光地として盛り上げに協力していきたいと考えているため、早急に整備してほしい。

(委員) 各事業に対する評価には問題ないと思う。委員の皆さんからの意見にあったように、学校との調整をしっかり進めていってほしい。また障がい者への配慮のための啓発のほか、施設整備(屋根付きの駐車場・会場入口付近にまで車で入れるエリアなど)も進めていってほしい。次期計画でもこういったことを含められるのか。

(事務局) 施設整備を早急に進められるかは即答しかねるが、社会教育施設全体のバリアフリー化はもちろん、各種イベント開催時にも障がい者を含めたバリアフリー化を念頭に入れて計画していきたい。その中で障がい者用の駐車場を会場付近に用意する、雨に濡れない配慮をする、スポーツ観戦時にも障がい者用観覧席を設けるなど、様々な形で障がい者も参加できるような仕組みを構築していきたい。

(委員) 東海村教育振興基本計画(とうかい教育プラン2025)はどこで閲覧できるのか。

(事務局) 村ホームページで閲覧できる。

(委員) とうかい教育プランに「障がい者への配慮」に関する施策があるのかは分からないが、評価シート内に「バリアフリー化指数(障がい者の来場者数、利用しやすさ等)」があるとよい。

(議長) 各事業の評価に対して「廃止」という意見はなかったため、本日出た意見を参考に今後の取組みに活かしていただきたい。東海村社会教育振興基本計画の令和6年度評価については「了承」ということでよろしいか。

⇒一同、了承。

4 その他(事務局から説明)

- ・「東海村社会教育振興基本計画策定スケジュール(案)」について説明した。
- ・第67回全国社会教育研究大会岩手大会(10/30~10/31)への参加を呼びかけ、9月末までに出席を報告いただきたい旨を依頼した。
- ・「令和7年度東海村教育の概要」について案内した。

5 閉会